

底抜け一等兵 (1957)

THE SAD SACK

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 98分

初公開日 1958/11/29

公開情報 P A R

【解説】

同題の連続コミックが原作の、ディーン・マーティンとのコンビ解消後の、この初のルイス単独主演作は、まとまりはついているものの、全くしまりのない軍隊喜劇。ルイスが、“もしかしたら天才かもしれない” オツムのネジの緩んだ一等兵ビクスビーを演じる。彼を鍛えるよう、マンハッタン心理研究所の美人少佐から仰せつかった伍長ドーラン（D・ウェイン）は陸軍一の問題児の彼と共に行動するたび、酔っ払って婦人分隊宿舎に闖入したりのトラブルを起こすが、派遣されたモロッコでケガの功名から思わぬ手柄を立てる。伍長の独白が入ったり、もったいをつけた作りが、作品に似つかわしくなく、美人少佐とビクスビーの間に芽生えるべきロマンスを彼が横取りしてしまうのも気に食わない。せっかくのP・ローレの助演（アラブの外人部隊の要人に扮する）も功を奏さず、プロダクションがしっかりしている分、空疎な印象が残る。

【クレジット】

監督	ジョージ・マーシャル	George Marshall
製作	ハル・B・ウォリス	Hal B. Wallis
原作	ジョージ・ベイカー	George Baker
脚本	エドマンド・ブロアン	Edmund Beloin
	ネイト・モナスター	Nate Monaster
撮影	ロイヤル・グリッグス	Loyal Griggs
音楽	ウォルター・シャーフ	Walter Scharf
出演	ジェリー・ルイス	Jerry Lewis
	ピーター・ローレ	Peter Lorre
	デヴィッド・ウェイン	David Wayne
	ジョー・マンテル	Joe Mantell
	ジーン・エヴァンス	Gene Evans
	リリアン・モンテヴィッチ	Liliane Montevecchi
	マイケル・アンサラ	Michael Ansara